# 付録

## ＪＡＣＲ活動資料

## 日本のがん登録をめぐる足跡

| | |
|---|---|
| 1951 年 | ・わが国初の地域がん登録が宮城県内で開始 |
| 1954 年 | ・日本で初めて地域がん罹患率が報告される |
| **1957 年~59 年** | **・広島市**（1957 年）と**長崎市**（1958 年）の医師会が<br>原爆傷害調査委員会（現、財団法人放射線影響研究所）の協力を得て腫瘍登録を開始 |
| 1960 年代 | ・1962 年、**大阪府**と**愛知県**で地域がん登録が開始 |
| 1970 年代 | ・神奈川県（1970 年）、鳥取県（1971 年）、北海道（1972 年）、高知県（1973 年）、 山形県（1974 年）、千葉県（1975 年）で地域がん登録が開始 |
| **1975 年** | **・厚生労働省の支援を受けて地域がん登録研究班が発足** |
| 1979 年 | ・国の第 4 次悪性新生物実態調査で初めて地域のがん 3 年生存率が公表される（13 道府県） |
| **1983 年** | ・老人保健法公布に伴う、国庫補助の開始<br>**（それまで 14 道府県で実施されていた地域がん登録制度が多くの自治体に急速に広がる）** |
| 1984 年 | ・第 8 回国際がん登録学会が福岡市で開催される |
| 1989 年 | ・国の第 5 次悪性新生物実態調査に 1 道 1 府 14 県 2 市のがん登録が参加 |
| **1992 年** | **・地域がん登録全国協議会（JACR）が大阪で発足** |
| 1995 年 | ・JACR モノグラフが創刊される（以後年 1 回刊行） |
| 1996 年 | ・地域がん登録研究班が「がん登録個人情報保護」ガイドラインを発表 |
| 1998 年 | ・補助金の一般財源化がん登録は、都道府県の自主性に委ねられる |
| **2002 年 8 月** | **・健康増進法公布　がん登録を国及び地方公共団体の努力義務と規定** |
| 2004 年 4 月 | ・第 3 次対がん 10 か年総合戦略が始まる。「がん予防対策のためのがん罹患・死亡動向の実態握の研究」班（祖父江班長）による 15 府県に対しての支援体制が開始 |
| 2005 年 9 月 | ・JACR が「地域がん登録における機密保持に関するガイドライン」を刊行する（大島明理事長） |
| **2006 年 6 月** | **・がん対策基本法公布** |
| 2006 年 10 月 | ・国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部地域がん登録室の開設 |
| 2007 年 4 月 | ・がん対策推進協議会が発足　がん対策推進基本計画が公表される<br>・ がん対策基本法の理念に基づきがん診療連携拠点病院の指定が開始<br>（これによりがん罹患の届出件数が全国的に急増する） |
| 2010 年 1 月 | ・JACR が NPO 法人となる |
| **2010 年 10 月** | **・第 32 回国際がん登録学会（横浜市）を、国立がん研究センターと JACR が共催する** |
| 2012 年 | ・がん対策推進協議会にて次期がん対策推進基本計画が策定され、がん登録の更なる推進が |

明記される

・JACR がが登録の法制化を要望する意見書を厚労大臣らへ提出

**・宮崎県と東京都を最後に、全国 47 都道府県で地域がん登録事業が実施される体制に**

・国際がん研究機関（IARC、リヨン）が発刊する、「5 大陸のがん罹患」第１０巻に、 宮城、新潟、福井、愛知、大阪、広島、佐賀、長崎のデータが掲載。宮城は、 第 1 刊から連続 10 回の掲載となる。

**2013 年 12 月 6 日** **・「がん登録推進法」が成立**

2015 年 ・ JACR が安全管理措置モニタリング事業を開始

**2016 年 1 月** **・「がん登録推進法」が施行。地域がん登録は国の事業となる。**

2016 年 6 月 ・地域がん登録全国協議会は日本がん登録協議会と改名。

**2016 年 9 月** **・JACR が朝日がん大賞を受賞**

2016 年 10 月 ・JACR は国立がんセンターからの受託業務として、都道府県のがん中央登録室・職員を対象とした安全管理措置モニタリング事業を開始

**2017 年 6 月** **・全国がん患者連合会と JACR が J-CIP プロジェクト協定書を締結**

2018 年 1 月 ・日本からは宮城、秋田、山形、栃木、群馬、茨城、神奈川、新潟、福井、山梨、愛知、大阪、兵庫、広島、愛媛、佐賀の 16 府県が参加した、CONCORD-3 の結果の論文が LANCET に掲載

**2018 年 11 月** **・JACR が認定 NPO 法人となる**

**2019 年 1 月** **がん登録推進法に基づく初めての集計値が厚労省から公表される**

## JACR の状況（２０１９年１月 31 日時点）

■正会員（47 都道府県 1 市、1 研究団体）

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、
埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、
長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、広島市

（一社）CDAA

■団体賛助会員（30 団体）

（一社）全日本コーヒー協会（5 口）

（公社）日本医師会、日本生命保険相互会社、東京海上日動あんしん生命保険（株）、
東京海上日動火災保険（株）、富士通　（株）（4 口）

アメリカンファミリー生命保険会社、MSD　（株）（3 口）

（公社）日本歯科医師会、（株）ヤクルト本社、サイニクス（株）、味の素（株）、（株）レナテック、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険（株）、久光製薬（株）、富士フイルムメディカル（株）、マニュライフ生命保険（株）（2 口）

（公財）日本対がん協会、アストラゼネカ（株）、富士レビオ（株）、伏見製薬（株）、大鵬薬品工業（株）、
中外製薬（株）、第一三共（株）、ノバルティスファーマ（株）、（株）キャンサースキャン、メルクセローノ（株）、ファイザー（株）、三井住友海上あいおい生命（株）、武田薬品工業（株）（1 口）

■個人賛助会員（12 名）

田中英夫様、佐々木毅様、岡本直幸様、戸井田睦美様（他 8 名）

■役員（敬称略）

| | | |
|---|---|---|
| 理事長 | 猿木　信裕 | 群馬県衛生環境研究所 |
| 副理事長 | 西野　善一 | 金沢医科大学 |
| | 大木　いずみ | 栃木県立がんセンター |
| 理事 | 茂木　文孝 | （公財）群馬県健康づくり財団 |
| | 三上　春夫 | 千葉県がんセンター |
| | 安田　誠史 | 高知大学教育研究部 |
| | 松坂　方士 | 弘前大学医学部附属病院 |
| | 田渕　健 | 東京都立駒込病院 |
| | 宮代　勲 | 大阪国際がんセンター |
| | 杉山　裕美 | （公財）放射線影響研究所 |
| | 伊藤　秀美 | 愛知県がんセンター研究所 |
| 監事 | 片山　佳代子 | 神奈川県立がんセンター臨床研究所 |
| 第２８回<br>学術集会長 | 高橋　將人 | 北海道がんセンター |
| 顧問 | 田中　英夫 | 大阪府岸和田保健所 |
| | 鶴田　憲一 | 全国衛生部長会 |
| | 岡本　直幸 | 株式会社レナテック |

■各種委員会（敬称略）

| 委員会名 | 委員長 |
|---|---|
| 学術委員会 | 安田　誠史 |
| 安全管理委員会 | 西野　善一 |
| 広報委員会 | 松坂　方士 |
| 教育研修委員会 | 大木　いずみ |
| 国際委員会 | 伊藤　ゆり |
| Ｊ－ＣＩＰ | 猿木　信裕 |

## 表彰制度

（1）　学術奨励賞

がん記述疫学の研究分野で優れた研究業績のある 50 歳以下の研究者を対象とする。

これまでの受賞者歴（敬称略）

| 受賞年 | 回 | 受賞者 | 所属 |
|---|---|---|---|
| 平成 24 年 | 第１回 | 松田　智大 | 国立がん研究センター |
| 平成 25 年 | 第２回 | 杉山　裕美 | 放射線影響研究所 |
| 平成 26 年 | 第３回 | 片野田　耕太 | 国立がん研究センター |
| 平成 27 年 | 第４回 | 伊藤　ゆり | 大阪府立成人病センター |
| 平成 28 年 | | | |
| 平成 29 年 | 第６回 | 田淵　貴大 | 大阪国際がんセンター |
| 平成 30 年 | 第７回 | 伊藤　秀美 | 愛知県がんセンター研究所 |
| | | 中田　佳世 | 大阪国際がんセンター |

（2）　がん登録実務功労者表彰

全国（地域）・院内がん登録の実務経験が 3 年以上あり、全国（地域）・院内がん登録で功績をあげた者、今後の活躍が期待できる者、データ活用、がん対策に貢献した者を対象とする。

| 受賞年 | 受賞者 | 所属 |
|---|---|---|
| 平成 30 年 | 小出　佳代子 | 愛知県がんセンター研究所　遺伝子医療研究部 |
| | 髙橋　志保子 | 千葉県がんセンター |
| | 原上　沙織 | 放射線影響研究所 |
| | 上村　吉作 | 東京都がん登録室 |
| | 安倍　由香里 | 大分県福祉保健部 |
| | 梅本　礼子 | 山陽女子短期大学 |
| | 中林　愛恵 | 島根大学医学部附属病院 |
| | | |
| | | |

（3）　　都道府県がん登録実務功労賞

各県のがん登録室を対象とする。Gold は CONCORD・CI5 参加府県、Silver は MCIJ A 基準を満たす県と、2 つの基準を設けて都道府県のがん登録室の表彰を行う。

| 受賞年 | Gold 受賞県 | Silver 受賞県 |
|---|---|---|
| 平成 30 年 | 宮城県 | 北海道 |
| | 秋田県 | 青森県 |
| | 山形県 | 宮城県 |
| | 栃木県 | 埼玉県 |
| | 群馬県 | 静岡県 |
| | 茨城県 | 神奈川県 |
| | 神奈川県 | 長野県 |
| | 新潟県 | 岐阜県 |
| | 福井県 | 石川県 |
| | 山梨県 | 滋賀県 |
| | 愛知県 | 三重県 |
| | 大阪府 | 奈良県 |
| | 兵庫県 | 和歌山県 |
| | 広島県 | 島根県 |
| | 愛媛県 | 鳥取県 |
| | 佐賀県 | 岡山県 |
| | | 山口県 |
| | | 香川県 |
| | | 徳島県 |
| | | 高知県 |
| | | 福岡県 |
| | | 長崎県 |
| | | 大分県 |
| | | 熊本県 |
| | | 鹿児島 |

（4）　　藤本伊三郎賞

国際がん登録学会など、JACR が指定する国際学会において、がん記述疫学・がん対策の研究分野で優秀な研究発表を行った 45 歳以下の者を対象とする。

| 受賞年 | 受賞者 | 所属 |
|---|---|---|
| 平成２９年 | 福井　敬祐 | 大阪国際がんセンター |
| | 田中　里奈 | 弘前大学大学院<br>医学研究科 |
| 平成 30 年 | 該当者なし | |

## 学術集会の開催履歴

| 開催日 | 回 | 開催地 | 大会長 |
|---|---|---|---|
| 平成４年 12 月 10 日 | 第１回 | 大阪市 | 藤本伊三郎 |
| 平成５年 10 月８日 | 第２回 | 仙台市 | 高野昭 |
| 平成６年９月 21 日 | 第３回 | 広島市 | 馬淵　清彦 |
| 平成７年９月 21 日 | 第４回 | 山形市 | 佐藤　幸雄 |
| 平成８年９月 20 日 | 第５回 | 長崎市 | 池田　高良 |
| 平成９年９月 12 日 | 第６回 | 千葉市 | 村田　紀 |
| 平成 10 年９月４日 | 第７回 | 名古屋市 | 田島　和雄 |
| 平成 11 年９月 14 日 | 第８回 | 神戸市 | 石田　輝子 |
| 平成 12 年９月 14 日 | 第９回 | 横浜市 | 岡本　直幸 |
| 平成 13 年９月 14 日 | 第１０回 | 大阪市 | 大島　明 |
| 平成 14 年９月 13 日 | 第１１回 | 米子市 | 岸本　拓治 |
| 平成 15 年９月 12 日 | 第１２回 | 福井市 | 藤田　学 |
| 平成 16 年９月２日 | 第１３回 | 仙台市 | 辻　一郎 |
| 平成 17 年９月２日 | 第１４回 | 東京都 | 祖父江　友孝 |
| 平成 18 年９月１日 | 第１５回 | 山形市 | 松田　徹 |
| 平成 19 年９月７日 | 第１６回 | 広島市 | 児玉　和紀 |
| 平成 20 年９月 12 日 | 第１７回 | 長崎市 | 関根　一郎 |
| 平成 21 年９月４日 | 第１８回 | 新潟市 | 小松原　秀一 |
| 平成 22 年 10 月 15 日 | 第１９回 | 横浜市 | 岡本　直幸 |
| 平成 23 年９月 15 日 | 第２０回 | 千葉市 | 三上　春夫 |
| 平成 24 年６月８日 | 第２１回 | 高知市 | 安田　誠史 |
| 平成 25 年６月 14 日 | 第２２回 | 秋田市 | 加藤　哲郎 |
| 平成 26 年６月 13 日 | 第２３回 | 津市 | 中瀬　一則 |
| 平成 27 年６月 11 日 | 第２４回 | 前橋市 | 猿木　信裕 |
| 平成 28 年６月３日 | 第２５回 | 金沢市 | 西野　善一 |
| 平成 29 年６月９日 | 第 26 回 | 松山市 | 寺本　典弘 |
| 平成 30 年６月 13 日 | 第 27 回 | 那覇市 | 増田　昌人 |
| 平成 31 年６月 19 日 | 第 28 回 | 札幌市 | 高橋　將人 |

## 主な刊行物

（1） News letter

No.1～ No.46（1997 年～2019 年）

年 2 回刊行

http://www.jacr.info/publicication/publicication3.html にて公開

（2） JACR Monograph

No.1～No.23（1994 年～2018 年）

（3） 私たちの地域がん登録

2012 年出版

（4） 地域がん登録の手引き 改訂第 5 版・詳細版

2013 年発行

（5） がん登録の手引き 改訂第 6 版

2018 年発行

（6） 地域がん登録における機密保持に関するガイドライン

2005 年 9 月発行

# JACR Monograph 投稿規定

2019 年 2 月現在

１．対象とする論文の学術領域

JACR モノグラフは、以下に関する論文の投稿を歓迎します。

① 全国がん登録や地域がん登録資料を活用したがんの記述疫学研究

② 人口動態死亡情報等の政府統計資料を用いた、がんの記述疫学研究

③ 院内がん登録資料を用いた病院のがん医療機能の評価に関する研究

④ がん対策の企画、立案、モニタリング、評価に関する政策的研究

⑤ がん登録事業の充実や、資料の利活用の促進を図るための法社会科学および情報科学的研究

⑥ がん登録資料との記録照合の結果を用いたコーホート研究

⑦ その他の国際協同研究を含めたがんの記述疫学的研究

２．投稿受付期間

当該年度に発行されるモノグラフの投稿受付期限は、同一年度の 9 月 30 日までとします。

３．投稿論文の種類と原稿のスタイル

(1) 原著

1) タイトルページ ①タイトル、②著者名、③著者の所属施設、④Corresponding author 名とその連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、電子メール）、⑤論文の種類、⑥要旨と本文それぞれの文字数

2) 要旨 800 字以内。構造化（目的、方法、結果、結論）が望ましい。

3) 本文 「1. はじめに」、「2. 方法」、「3. 結果」、「4. 考察」で構成するが、必要に応じ、2.(1),1)と、群小化して良い。必要に応じ、謝辞を「4. 考察」の後につける。謝辞を含め、6000 字以内とする。

4) 図表は、合計 8 つまでとする。引用文献は、30 編までとする。

(2) 総説

1) タイトルページ 原著論文に同じ。

2) 要旨 800 字以内。

3) 本文 内容に応じ、適宜構造化を図る。謝辞を含め、8000 字以内とする。

4) 図表は合計 6 つまでとする。引用文献は、60 編までとする。

(3) 資料

地域がん登録資料、政府関係資料、院内がん登録資料等を用いた統計データの提示を中心とした論文や、がん登録事業やがん対策の充実に役立つと考えられる資料。

1) タイトルページ 原著論文に同じ。

2) 要旨 400 字以内。

3) 本文 内容に応じ、適宜構造化を図る。謝辞を含め、4000 字以内とする。

4)　図表は合計 10 までとする。引用文献は、20 編までとする。

(4)　がん登録事業活動報告

登録精度や即時性の向上などに関するユニークな取り組みとその効果評価、広報活動、実務担当者への教育研修活動など、他県の取り組みの参考になると考えられる活動の紹介。

1)　タイトルページ 原著論文に同じ。

2)　要旨 400 字以内。

3)　本文 内容に応じ、適宜、構造化を図る。謝辞を含め、4000 字以内とする。

4)　図表は合計 6 つまでとする。引用文献は、10 編までとする。

(5)　提言

がん登録事業やがん対策の企画、実行、評価活動とその基盤整備に関する提案・提言。提言の狙い・意義、提言の理論的根拠、提言の根拠となる先行事例、提言が実現した場合に生じるメリットデメリットなどについて、言及すること。

1)　タイトルページ 原著論文に同じ。

2)　要旨 400 字以内。

3)　本文 内容に応じ、適宜、構造化を図る。謝辞を含め、4000 字以内とする。

4)　図表は合計 4 つまでとする。引用文献は、20 編までとする。

４．投稿原稿の執筆要領

(1)　MS Word（ver.2010 以降）を使って日本語で作成する。数字及びアルファベットは原則として半角とする。

(2)　数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。

(3)　特殊な、あるいは特定分野のみで用いられている単位、符号、略号ならびに表現には簡単な説明を加える。

(4)　異なる機関に属するものが共著である場合は、各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し、その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。

(5)　図、表および写真には図 1、表 1、および写真 1 などの番号をつけ本文とは別にまとめておく。表は表題とともに 1 枚の用紙に 1 つとする（図、写真についても同じ）。図は凡例とともに原則としてそのまま掲載できる明瞭なものとする。図表は、Excel もしくは Power Point （どちらも ver.2010 以降）で作成する。写真は JPEG もしくは GIF データで提出する。図、表、写真は、全て白黒印刷となるので、それを念頭に凡例などを作成すること。

(6)　引用文献の後に、英文 Summary を掲載することができる。採択された論文の英文 Summary は、図表とともに JACR のホームページに掲載される場合があることを承諾することが、英文 Summary を JACR モノグラフに掲載することの条件となる。当誌への英文 Summary の掲載を希望する場合は、ローマ字による著者名と所属施設名と 400 単語以内の英文 Summary を、この順番で引用文献の後の頁に用意する。そして、図表およびその凡例とタイトルは、英語で作ること。なお、英文 Summary は、専門家によるチェックを受けておくことが望ましい。

(7)　引用文献の記載様式

1)　文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1～5)、1,3～5)と、引用する順に番号で示し、本文の後に一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 人までは全員、4 人以上の場合は 3 人目までを挙げ、4 人目以降は省略して、3 人の著者名+『，他』とする（以下の例を参照）。英文の文献で著者が 4 人以上の場合は、3 人

の著者名+『，et al.』とする。

2)　雑誌名はその雑誌が使用している略名がある場合は使用してもよい。

3)　記載方法は下記のとおり。

①　雑誌の場合　著者名．表題．雑誌名．発行年（西暦）；巻：頁-頁.

例 1：田中英夫，西山謹司，津熊秀明他．癌専門医療施設における放射線治療の動向．癌の臨床．2001　47：449-455.

例 2：Tanaka H, Uera F, Tsukuma H, et al. Distinctive change in male liver cancer incidence rate between the 1970s and 1990s in Japan: comparison with Japanese-Americans and US whites.
Jpn J Clin Oncol. 2007;37:193-196.

②　単行本の場合　著者名．表題．編集名．書名．発行所所在地：発行所，発行年（西暦）；頁-頁.

例 3：雑賀公美子，松田智大，祖父江友孝．日本のがん罹患の将来推計．祖父江友孝，片野田耕太，味木和喜子，津熊秀明，井岡亜希子，編．　がん・統計白書 2012．東京：篠原出版新社，2012；63-82.

例 4：Tanaka H. Prevention of cancers due to infection. Miller AB, eds.Epidemiologic studies in cancer prevention and screening. New York: Springer, 2012; 65-83.

③　インターネットのサイトの場合　他に適切な資料が得られない場合は文献として使用してもよいこととする。この場合は、サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに、アクセスした年月日も付記すること。

５．投稿方法

次のファイルを下記メールアドレスまで電子メールに添付して送信します。

(1)　送信するファイル

1)　タイトルページ、要旨、本文、引用文献、英文 Summary ページまでを通して頁番号を付したファイル。

2)　図表は 1 点につき 1 つのファイル。

(2)　送り先　日本がん登録協議会事務局　office@jacr.info

６．採択の方針

投稿原稿の採否は、原則として peer review による査読プロセスを経て、JACR モノグラフ編集委員で審議し決定します。採択決定の前に corresponding author に対し、revision を指示することがあります。

７．著作権

掲載された論文の著作権は、JACR に帰属します。

８．その他、本規定に対する問い合わせは、事務局（office@jacr.info）まで。

JACR Monograph　No.24　　2018

編　集　宮代勲　杉山裕美　田淵貴大

技術編集　松崎良美・濱松若葉・小沢春花

発　行　猿木信裕
認定特定非営利活動法人 日本がん登録協議会
〒104-0061　東京都中央区銀座 8-19-18
第三東栄ビル 503
Tel. 03-3547-5992 / Fax. 03-3547-5993
E-mail office@jacr.info
URL http://www.jacr.info/

印刷所　宮永印刷
〒135-0034　東京都江東区永代 2-20-4

発行年　平成 31 年 3 月　第 1 刷

ISBN 978-4-925059-24-4

Since 1992

Japanese Association
of
Cancer Registries